

LARSの原因と治療・生活への影響

榎本浩也、佐藤正美、深井喜代子、谷山 牧
荒木しのぶ、今泉郷子、江川安紀子、岡田みどり
幸田圭史、松原康美、三宅映子、柳 朝子

日本看護研究学会第51回学術集会 C O I 開示

榎本浩也、佐藤正美、深井喜代子、谷山 牧
荒木しのぶ、今泉郷子、江川安紀子、岡田みどり
幸田圭史、松原康美、三宅映子、柳 朝子

発表に関連し、筆頭演者と共同発表者には、
開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

医療者と患者が一緒につくる

直腸がん大事典

LARS・ストーマとともに歩むために

Dr.ENOMON

【直腸がん大事典】医療者と患者が一緒につくる動画チャンネル

大腸 そして

直腸とは



監修・臓器イラスト：仕垣 隆浩
（大腸外科医・久留米大学病院）

5:40

大腸、そして直腸とは【どんな臓器？肛門との関係は？】「直腸がん大事典」

直腸 がん術後の
排便障害

LARSとは

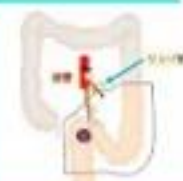
前編



監修：秋月恵美
（大腸外科医・札幌いしやま病院）

3:17

：LARSとは【前編】直腸がん術後の排便障害を知ろう！「直腸がん大事典」



大腸がんの手術について

前編

いろいろな術式：リンパ節郭清



監修・臓器イラスト：仕垣 隆浩
（大腸外科医・久留米大学病院）

5:06

大腸がんの手術について：前編【術式の種類と違い、リンパ節郭清とは】「直腸がん大...

ラース：直腸を切る手術を受けた人に起こる排便障害の総称



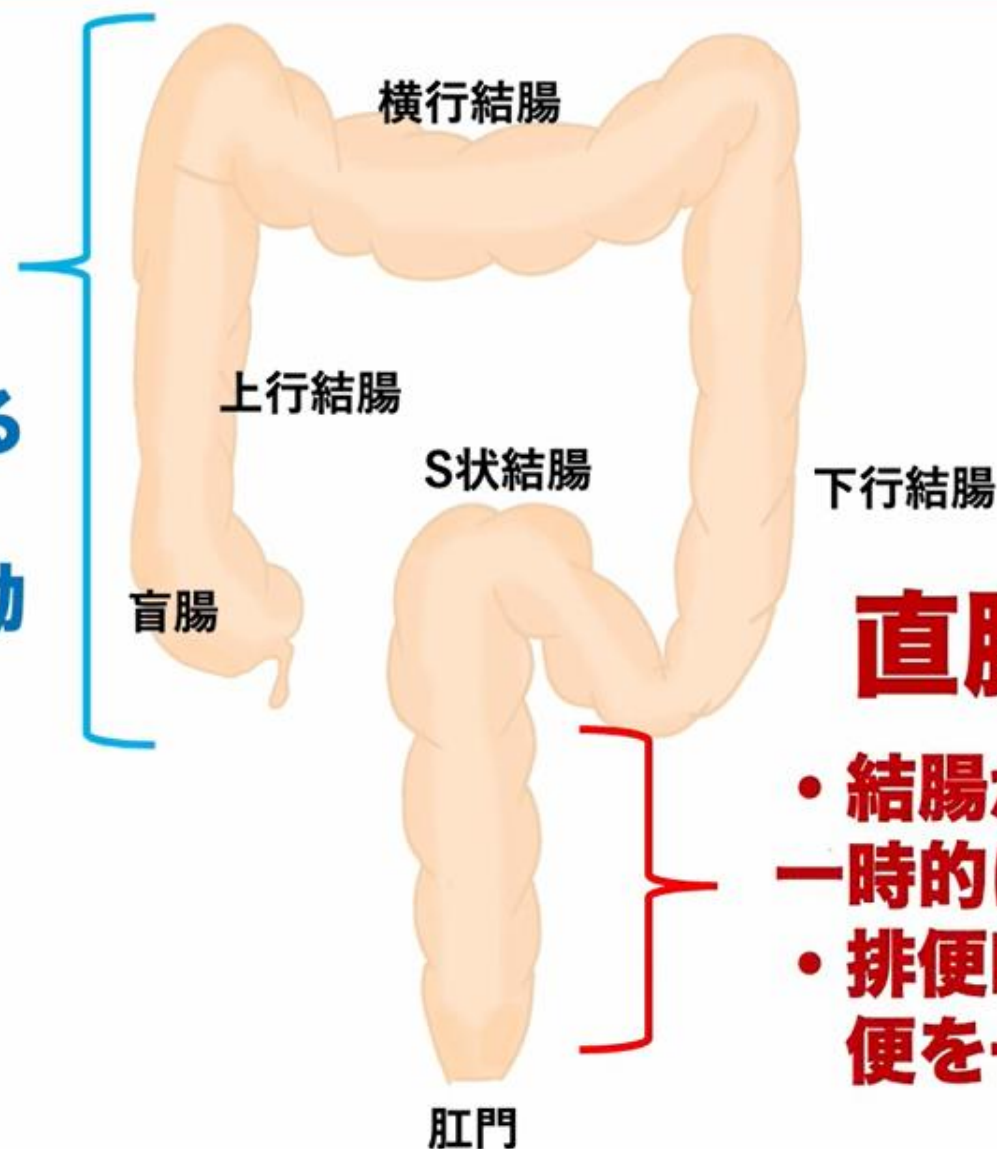
低位前方切除後症候群

「直腸」の手術を受けた患者の
7～9割に起こる

大腸は結腸と直腸の2つに分かれる

結腸

- 便の水分を吸収する
- 食事摂取などに
応じて蠕動
- 便を直腸へ送る



直腸

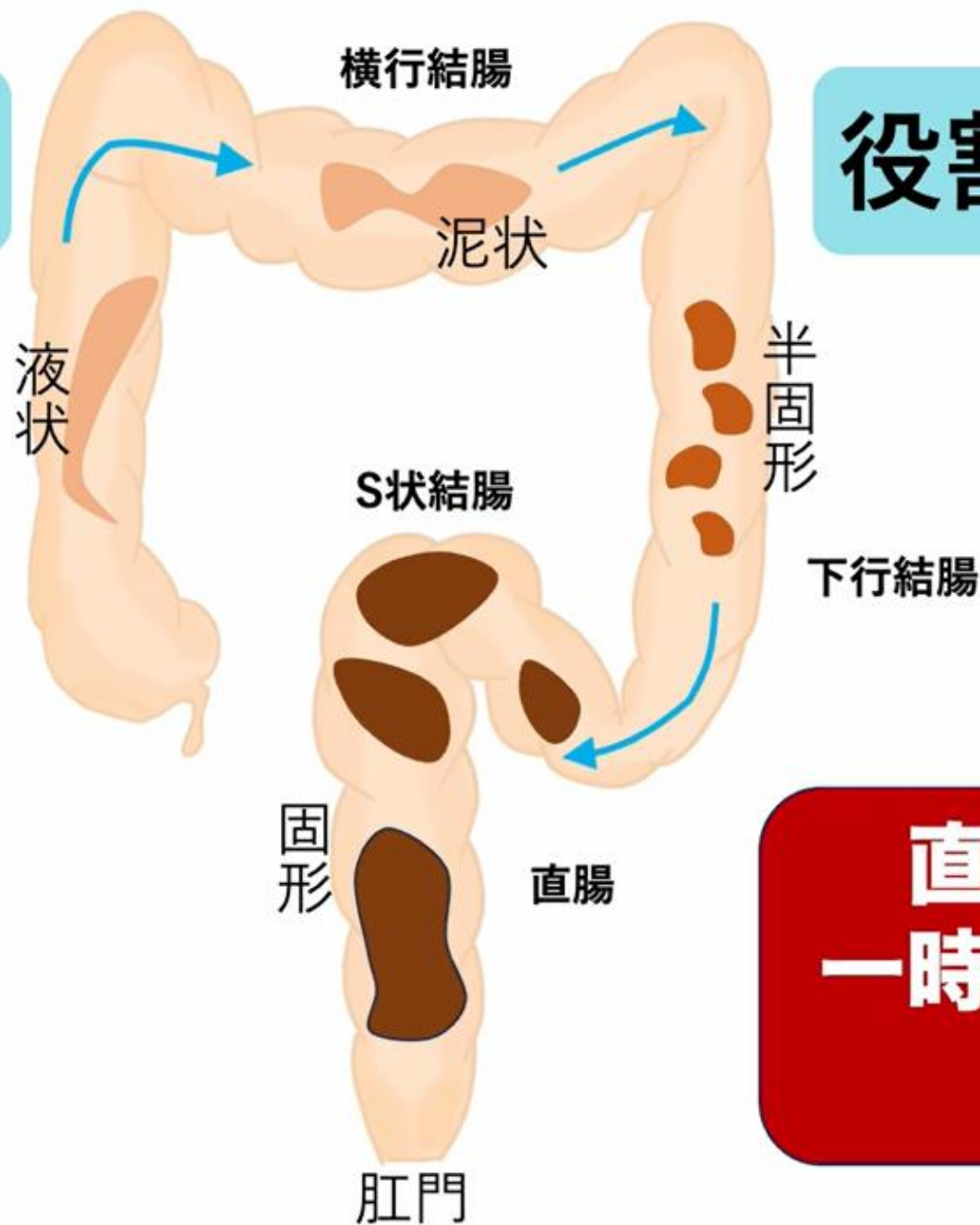
- 結腸から降りてきた便を一時的に保持し、排出する
- 排便時に強く収縮して便を一気に押し出す

結腸と直腸は

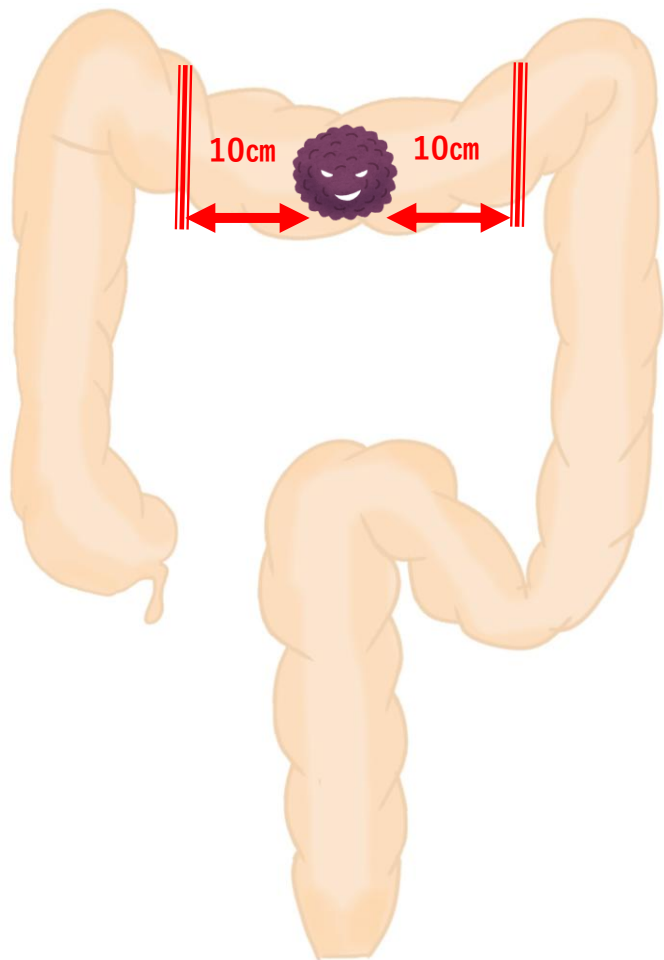
役割が異なる

**結腸：
便を形作る**

**直腸：便を
一時的に貯めて
出す**

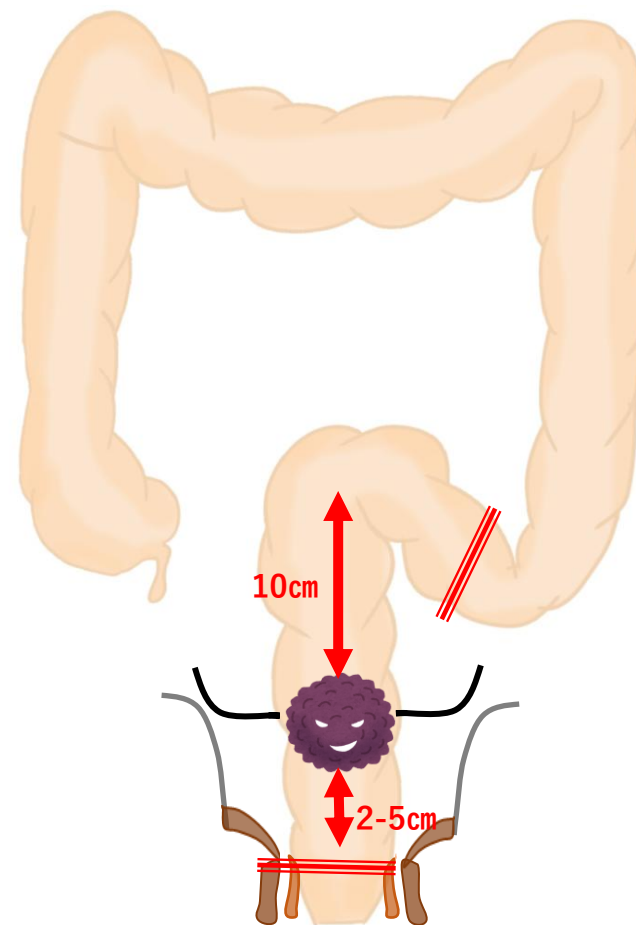


結腸癌



残存結腸が結腸機能を補い、
排便への影響は少ないことが多い

直腸癌



残存直腸が少ないと直腸機能を補えず、
排便への影響が大きい

がんの手術で重要！

がんの周りの正常な組織ごと、がんが露出しないよう切除すること

手術の歴史

1908年

直腸と肛門ごと切除するマイルズ手術（APR）
→永久人工肛門（ストーマ）

1939年

肛門を切除せず切った後の腸と腸をつなぐ
前方切除（AR）→肛門温存

手術技術の発展

+

患者さんの声

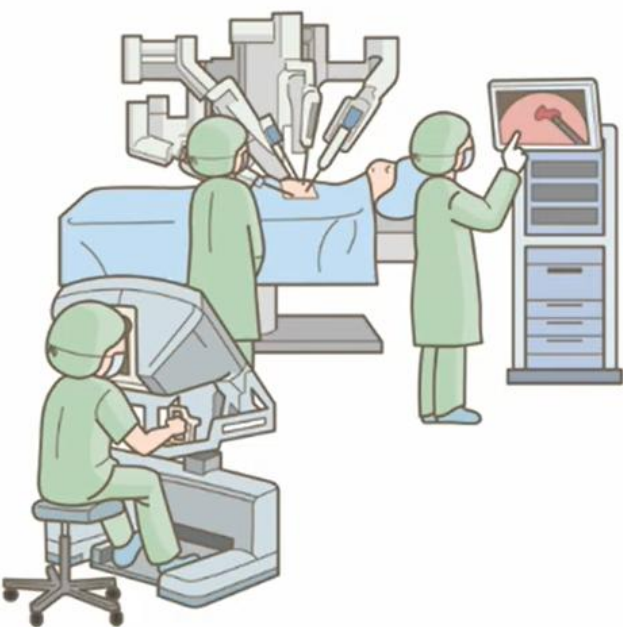
1990年代

直腸がんの約80%で肛門温存が可能に

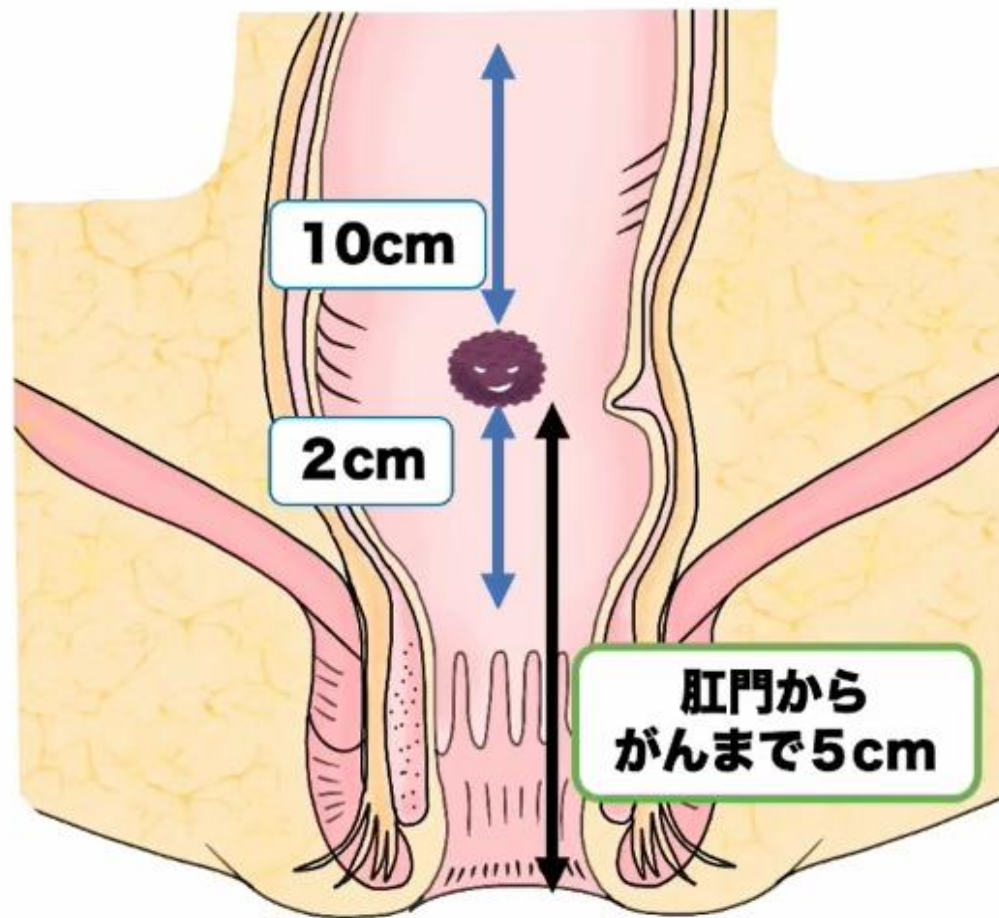
1994年

括約筋間切除術（ISR）

究極の
肛門温存手術



直腸は、がんが肛門に近いと肛門を残せない

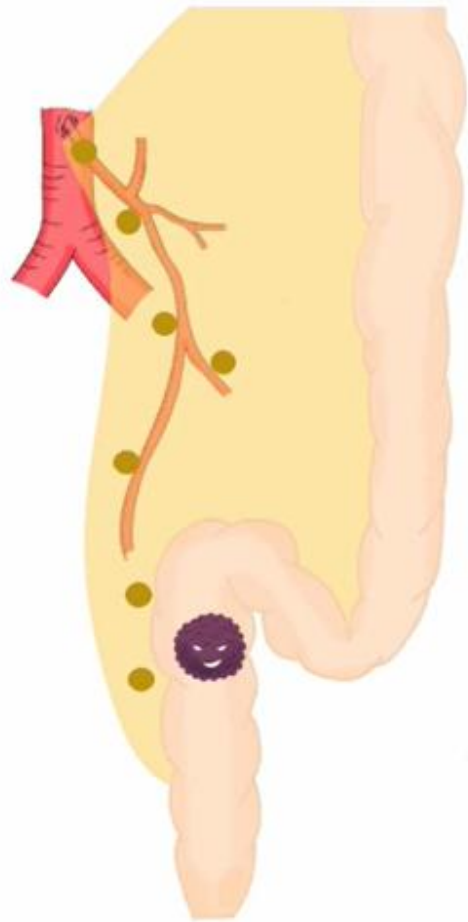


直腸がんの手術

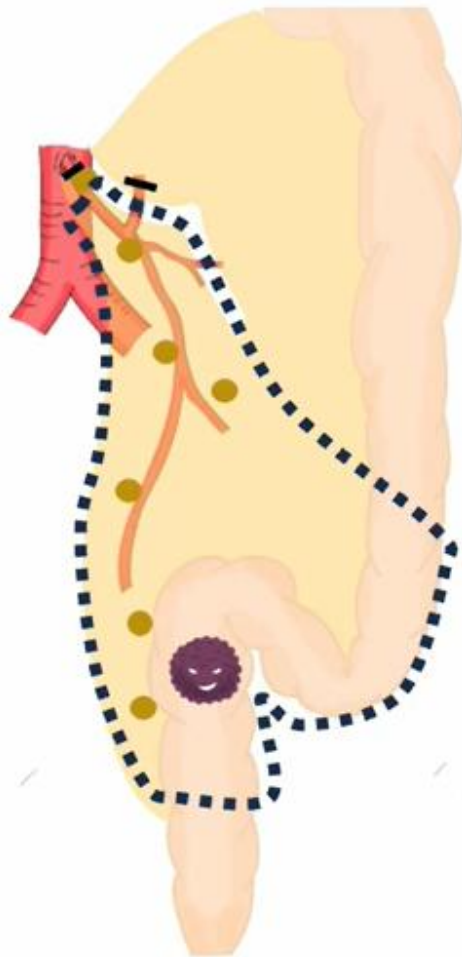
高位前方	切除術
低位前方	
超低位前方	
括約筋間	
腹会陰式直腸	切断術

直腸の手術の流れ

1

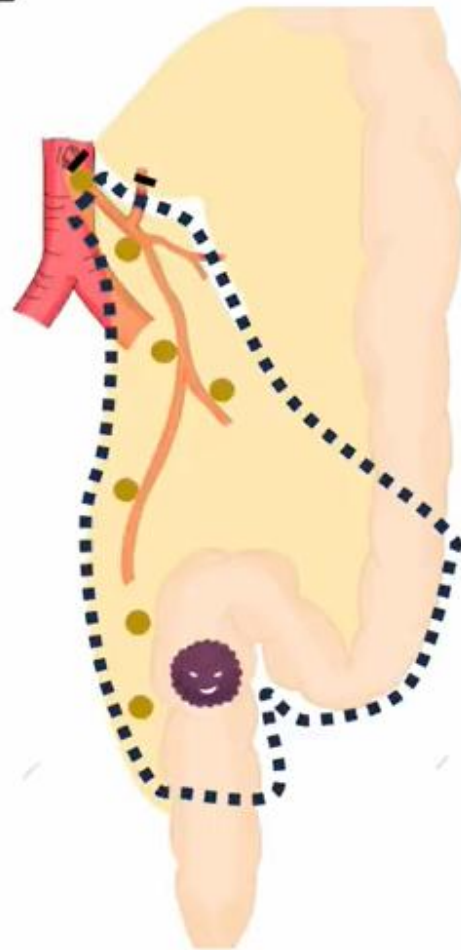


2



直腸とリンパ節を周囲からはがし、血管も根元で切る

3



腫瘍の肛門側を、器械を使って切る

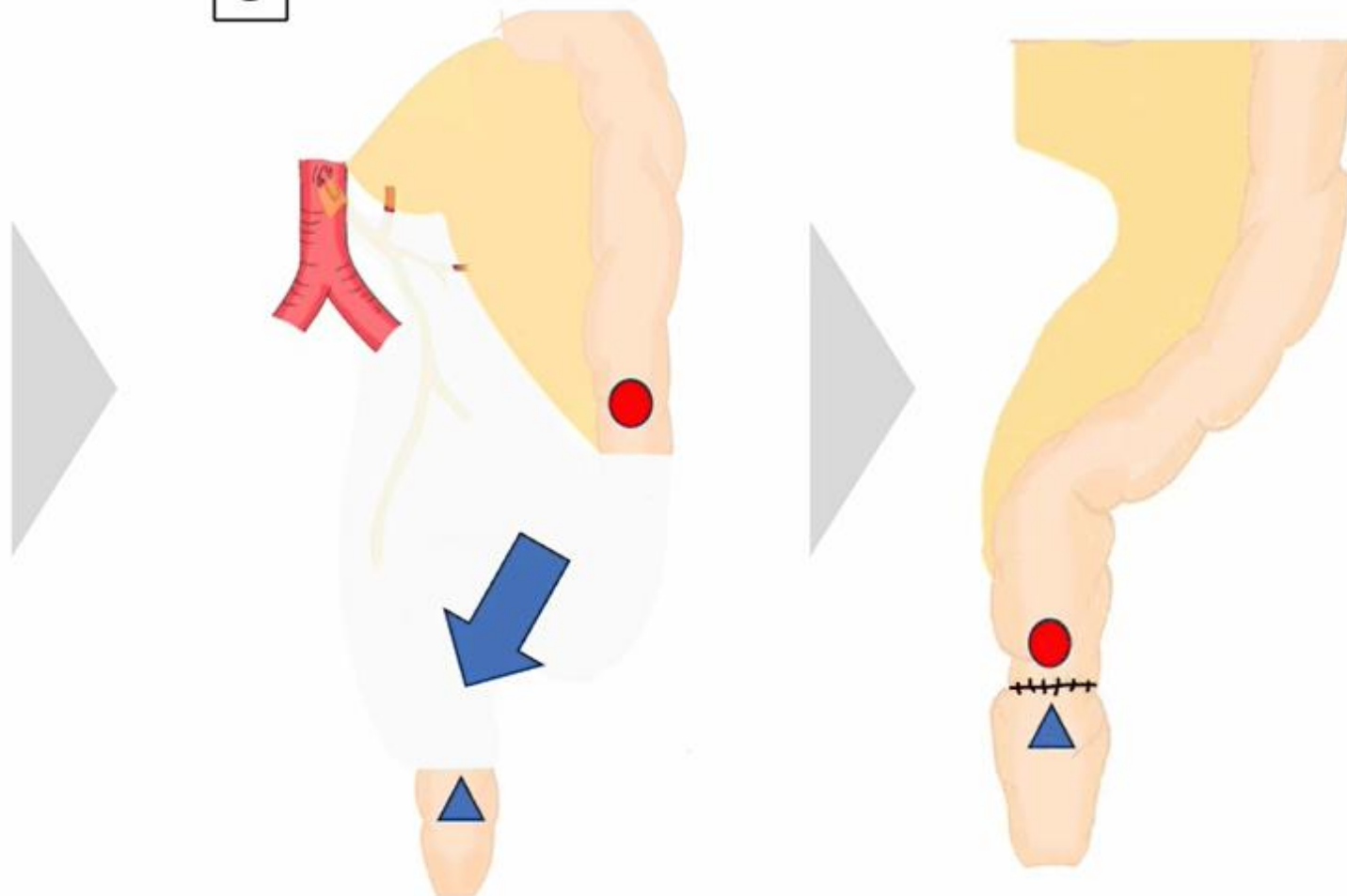
4



おなかの傷から腸を体外に取り出し、
腸管を切除

直腸の手術の流れ

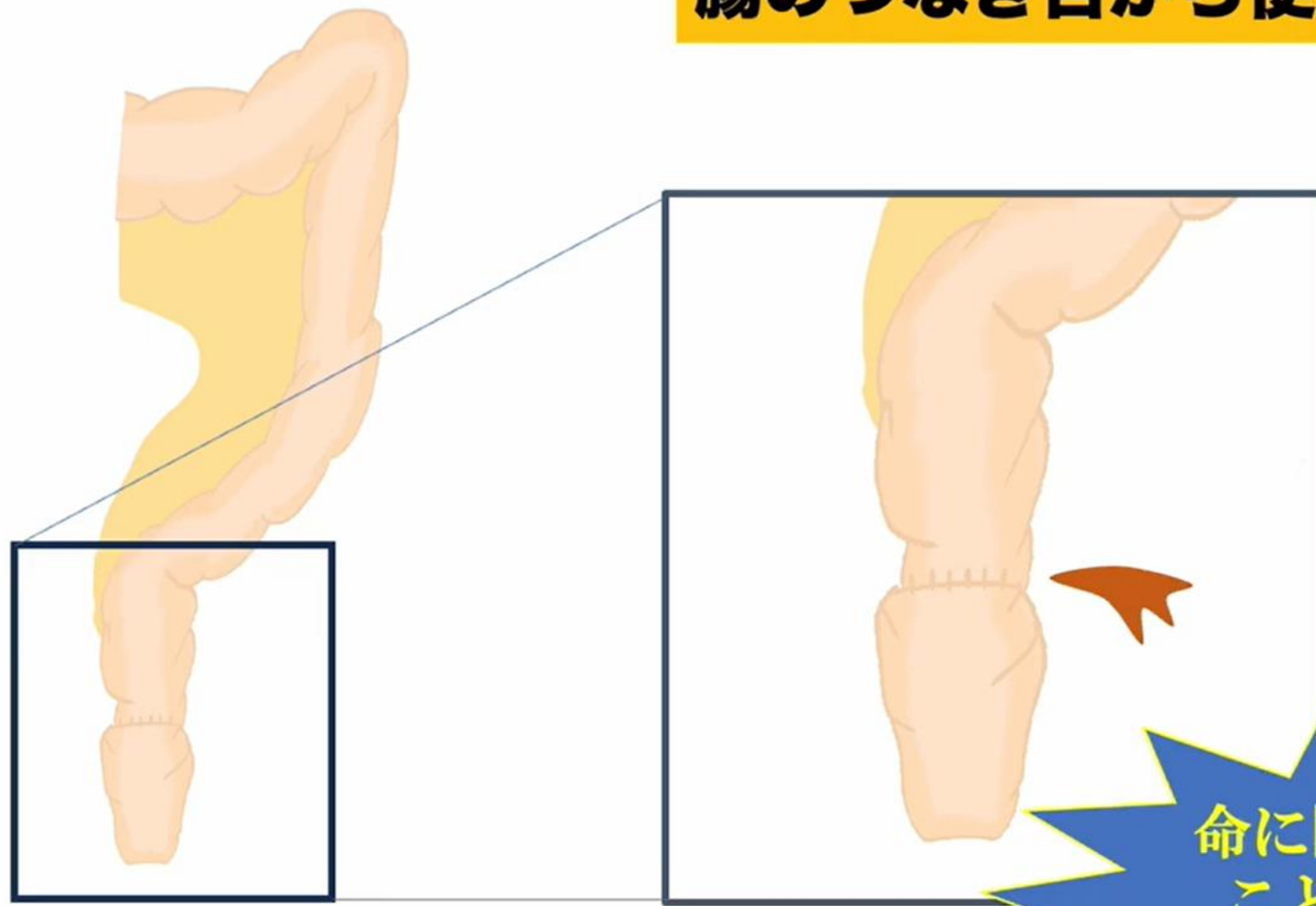
5



口側の結腸と、肛門側の直腸を器械、または
手縫いでつなぐ

大腸がんの合併症で一番心配なのは縫合不全

腸のつなぎ目から便がもれること

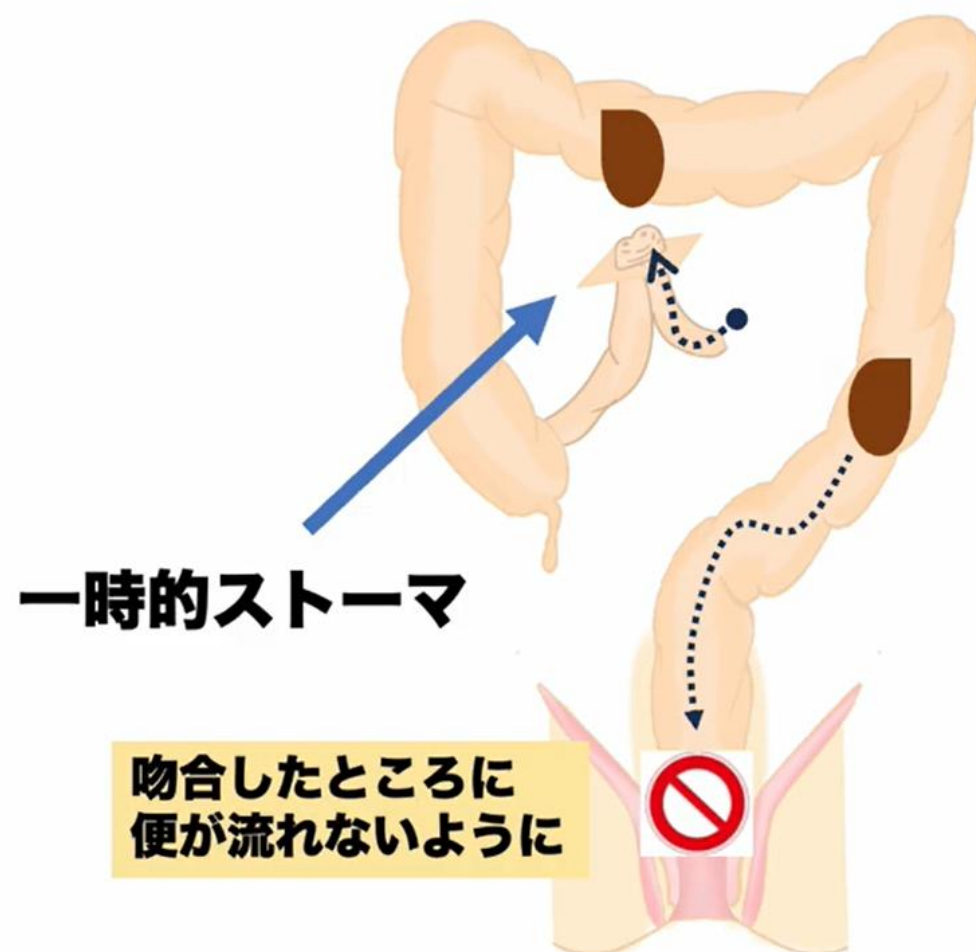
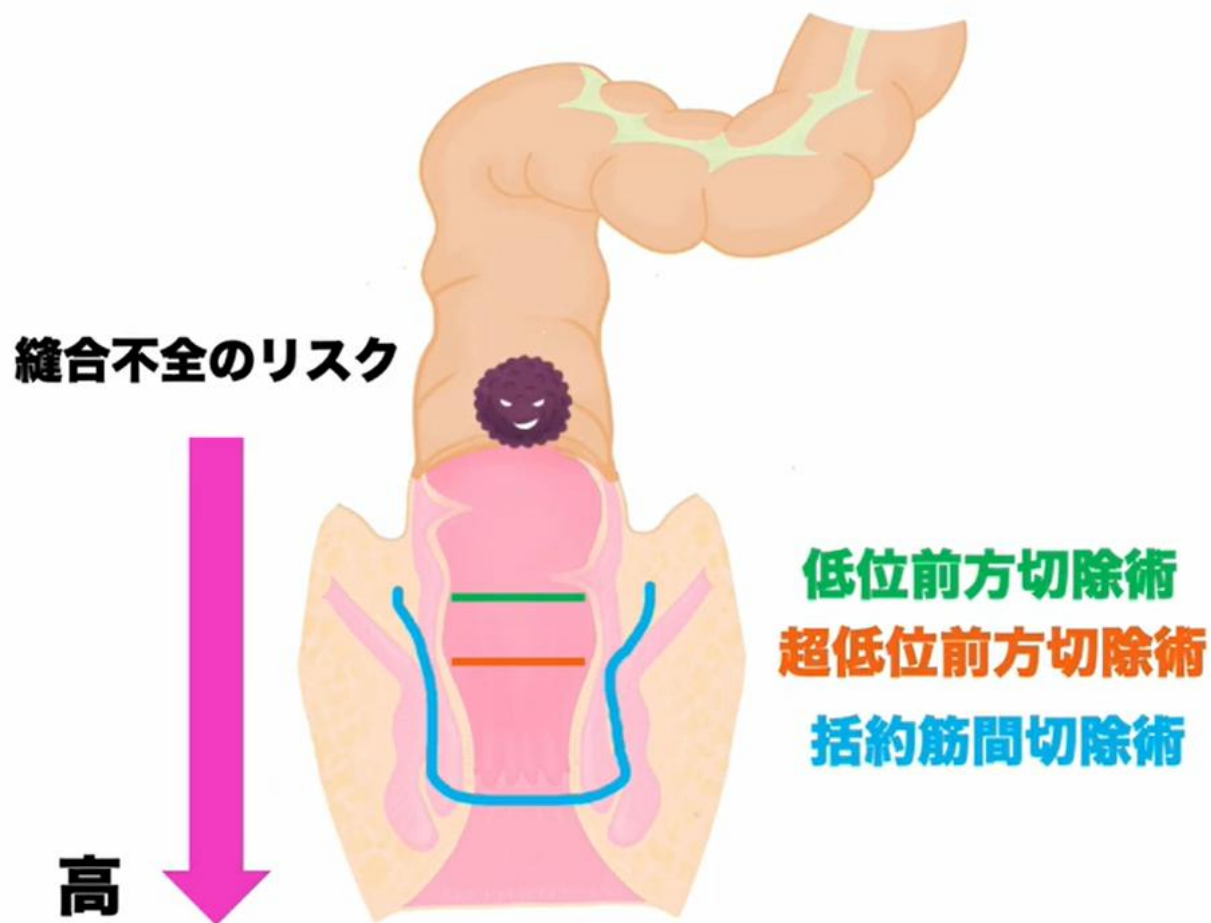


腹膜炎

発熱・腹痛
などの症状

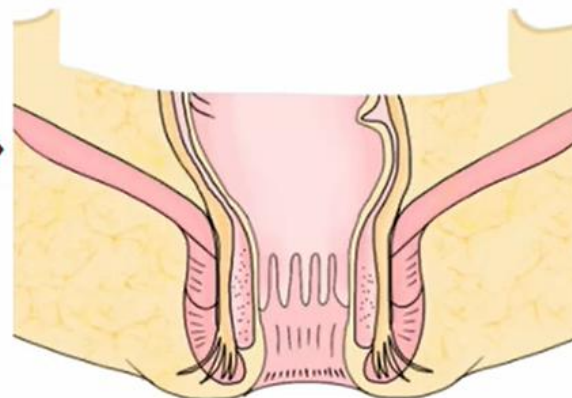
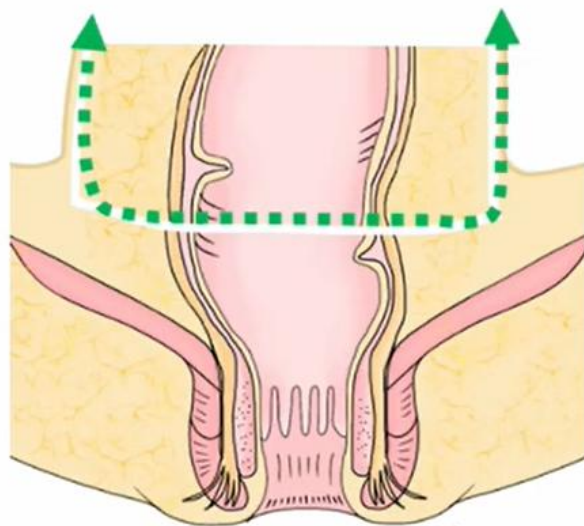
命に関わる
ことも！

縫合不全のリスクが高い場合は一時的ストーマを造設

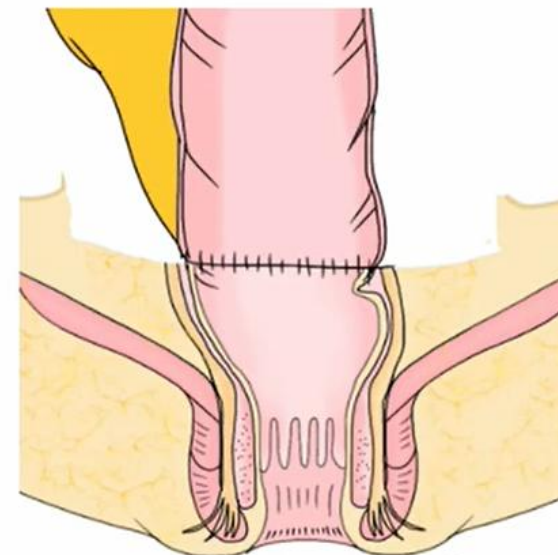


術式の違い

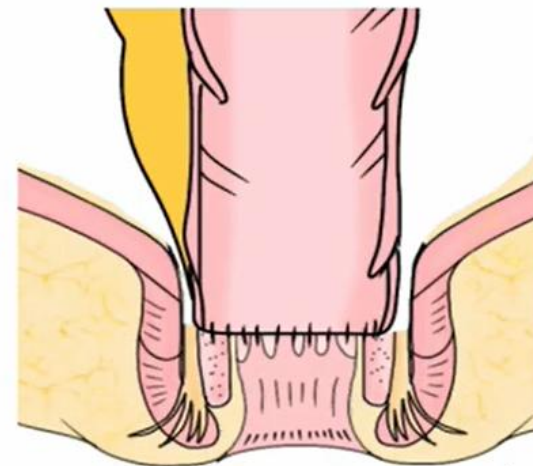
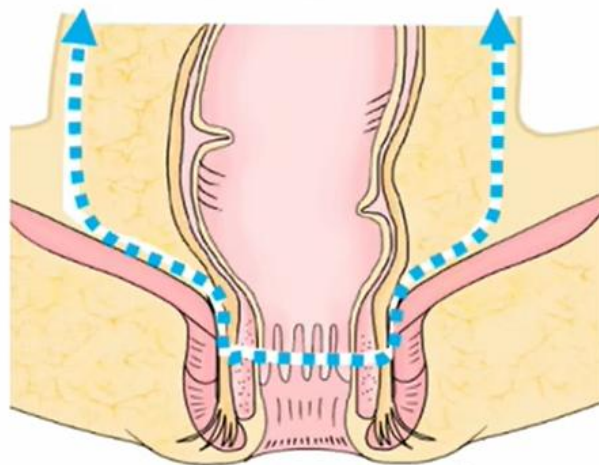
低位前方切除術



ふんごう
吻合 (縫い合わせる)

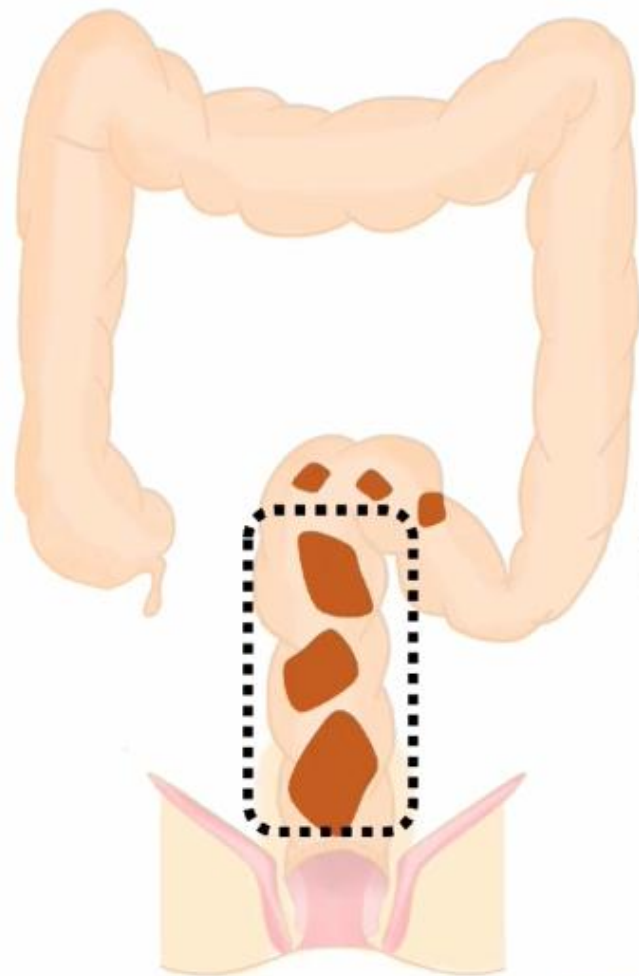


括約筋間切除術



直腸切除術によって生じる変化 その1

【手術前】



直腸が小さくなる/なくなる

貯めることが
できる便の量が
減る/ゼロに

【直腸切除後】



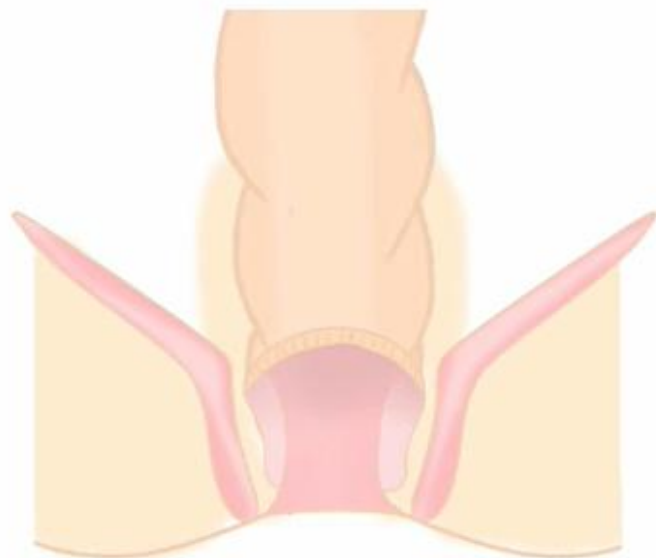
便が作られ
出口に近づく

すぐにトイレに
行きたくなる

①直腸機能が低下する

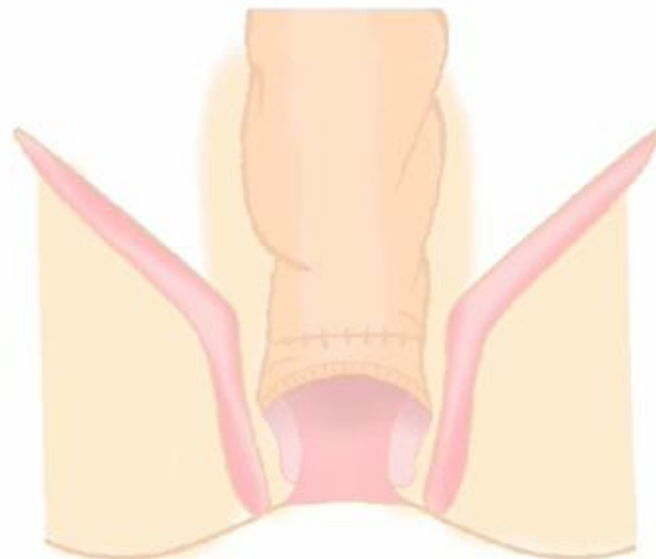
直腸切除術によって生じる変化 その2

【手術前】



肛門括約筋切除や
肛門周囲の手術操作で
筋肉に影響

【直腸切除後】



- ・ 便を我慢するために
収縮して肛門を締める
- ・ 便を出す際に、
タイミングよく肛門を緩める

便が我慢
できにくくなる

便が
出しにくくなる

②肛門機能が低下する

直腸切除術によって生じる変化 その3

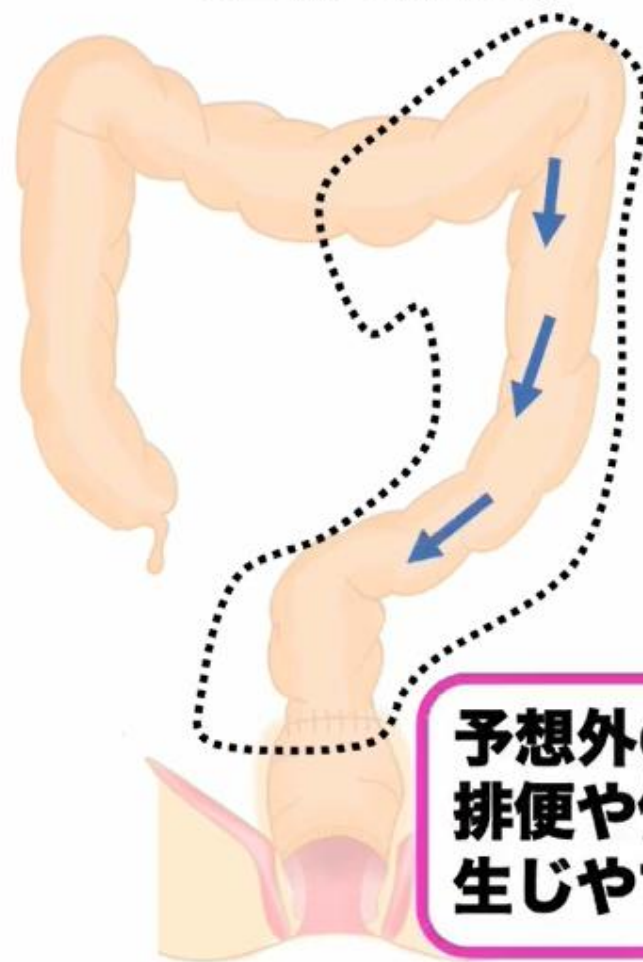
【手術前】



【手術操作】
リンパ節郭清
腸をはがす

スムーズに便が
送られない

【直腸切除後】



予想外の
排便や便意が
生じやすくなる

こうしん

③左側結腸の蠕動が亢進する（腸の動きが過剰になる）

直腸切除術によって生じる変化 その4

機能回復には時間がかかる



④大腸と肛門を使用しない期間が生じる

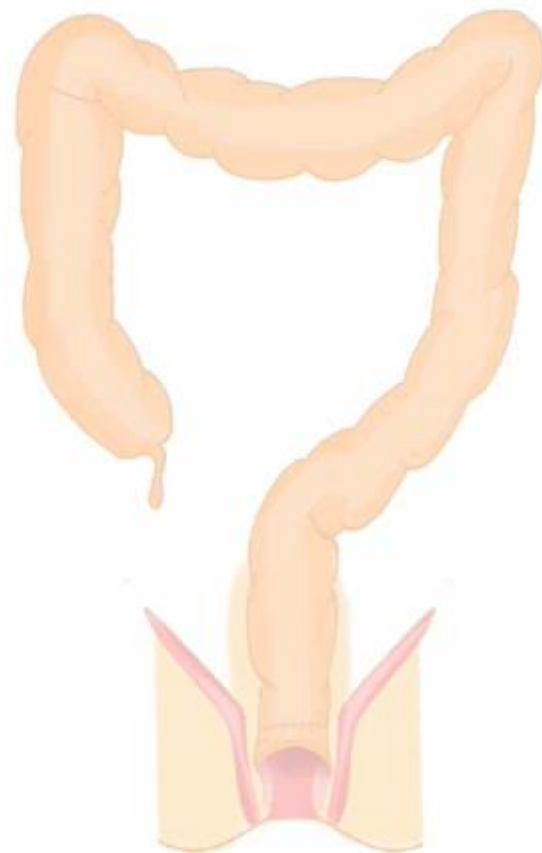
直腸切除術によって生じる変化

①直腸機能が低下する

②肛門機能が低下する

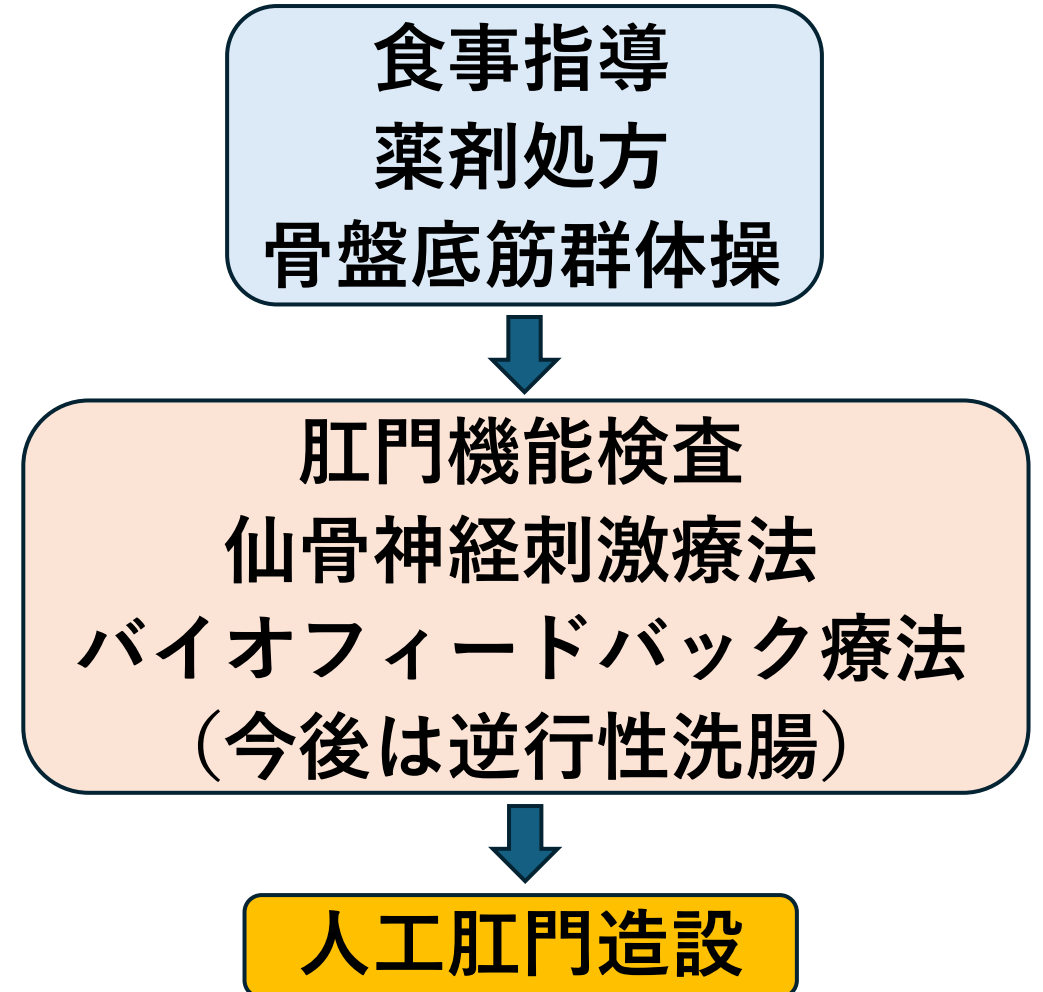
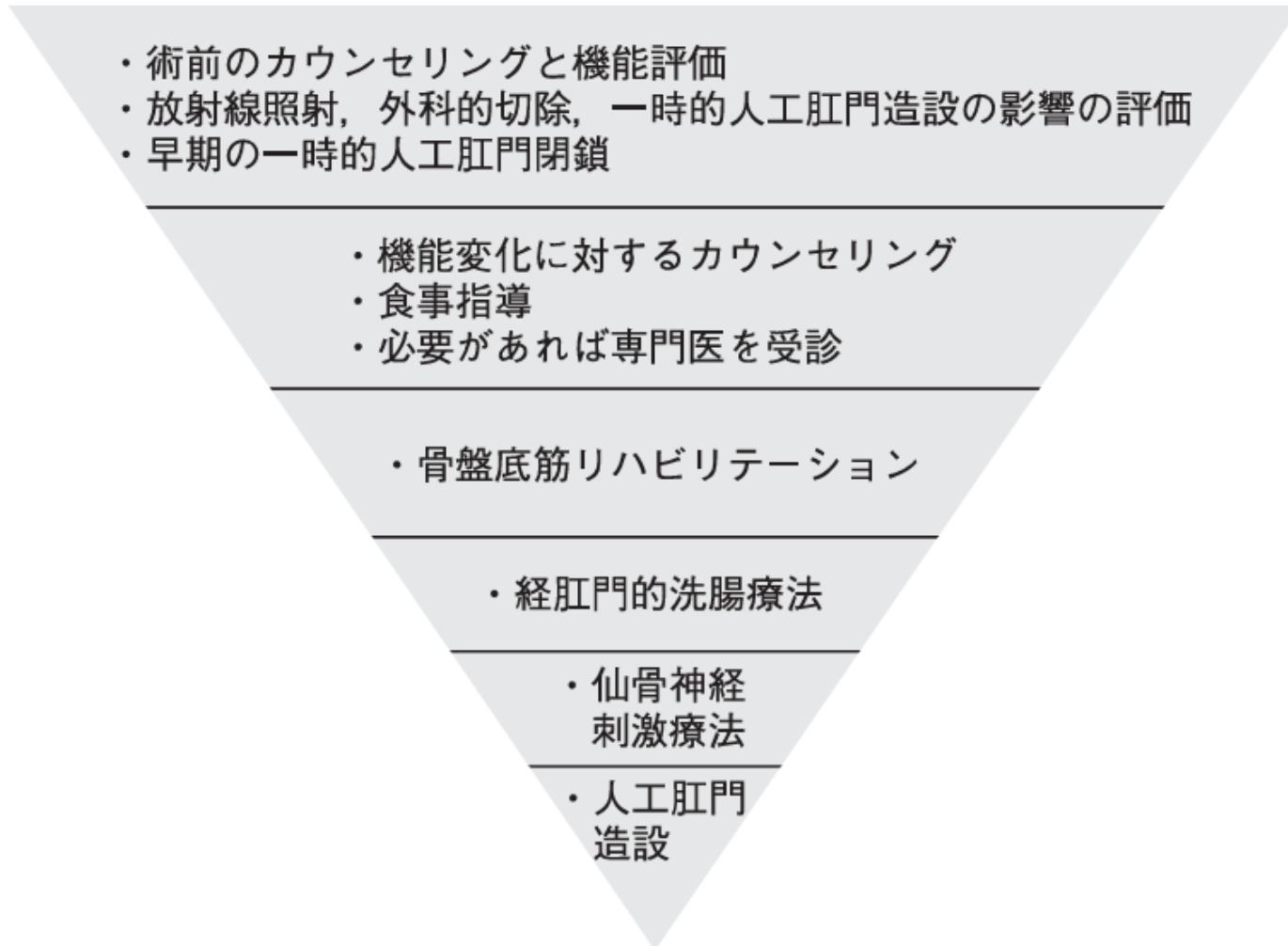
③左側結腸の蠕動が亢進する
(腸の動きが過剰になる)

④大腸と肛門を使用しない期間が生じる



こうした変化により
LARS (低位前方切除後症候群) の症状が起こる

LARS治療のチャート



Low Anterior Resection Syndrome

症状



予測不可能な
排便



排便困難
残便感



便性状が
不安定



便意切迫感



頻回便



切迫性
便失禁



繰り返す
排便時痛



漏出性
便失禁

生活への影響



トイレ
依存



精神や情緒



排便に執着
している



日常生活・
社会活動



排便に
不満



対人関係



排便のための
計画や妥協



社会的役割を
果たせない

LARSとは、上記のような症状によって生活に悪影響を生じている状態

Low Anterior Resection Syndrome

症状



予測不可能な
排便



排便困難
残便感



便性状が
不安定



便意切迫感



頻回便



切迫性
便失禁



繰り返す
排便時痛



漏出性
便失禁

生活への影響



トイレ
依存



精神や情緒



排便に執着
している



日常生活・
社会活動



排便に
不満



対人関係



排便のための
計画や妥協



社会的役割を
果たせない

LARSとは、上記のような症状によって生活に悪影響を生じている状態

LARSは個人差が大きい：その差をどう把握する？



患者Aさん

- ・複数の症状が出て頻度も高い
- ・生活に大きな悪影響

 予測不可能な排便	 排便困難 残便感	 トイレ依存	 精神や情緒
 便性状が不安定	 便意切迫感	 排便に執着している	 日常生活・社会活動
 頻回便	 切迫性便失禁	 排便に不満	 対人関係
 繰り返す排便時痛	 漏出性便失禁	 排便のための計画や妥協	 社会的役割を果たせない



患者Bさん

- ・一つか二つの症状がたまに
- ・そこまで生活に影響なし

 予測不可能な排便	 排便困難 残便感	 トイレ依存	 精神や情緒
 便性状が不安定	 便意切迫感	 排便に執着している	 日常生活・社会活動
 頻回便	 切迫性便失禁	 排便に不満	 対人関係
 繰り返す排便時痛	 漏出性便失禁	 排便のための計画や妥協	 社会的役割を果たせない

生活に及ぼす影響

- ・ 便が出だすと、その後頻回に排便が続きトイレから離れられない
- ・ 便意が突然襲ってきて、トイレを探しているうちに便を漏らした
- ・ 会議の途中でおならが我慢できなくて恥ずかしい思いをした
- ・ 外出する時は、食事を抜いてオムツをして出かける
- ・ 突然の便意や失便が怖くて外出できない
- ・ 排便障害により仕事内容の変更した、辞めることにした
- ・ 朝起きたら下着に便がついていた
- ・ 趣味を継続できなくなった

患者参画の実際



代表：佐々木香織



語る！大腸がんサバイバー
カロリーナ Calorina

研究者の立場から

原 著 I

Low anterior resection syndrome に関する実態調査

松岡 弘芳¹⁾ 安野 正道²⁾ 高橋 慶一³⁾ 船橋 公彦⁴⁾
斉田 芳久⁵⁾ 板橋 道朗⁶⁾ 松田 圭二⁷⁾ 藤井 正一⁸⁾
小川 真平⁶⁾ 山田 岳史⁹⁾ 衛藤 謙¹⁰⁾ 正木 忠彦¹¹⁾

杏林大学保健学部救急救命学科¹⁾, 東京医科歯科大学医学部付属病院大腸肛門外科²⁾,
がん感染症センター駒込病院外科³⁾, 東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科⁴⁾,
東邦大学医療センター大橋病院外科⁵⁾, 東京女子医科大学消化器一般外科⁶⁾,
帝京大学外科学教室⁷⁾, 国際医療福祉大学市川病院消化器外科⁸⁾, 日本医科大学消化器外科⁹⁾,
東京慈恵会医科大学消化管外科¹⁰⁾, 杏林大学消化器一般外科¹¹⁾

術後患者との関係が不良になった
担当医師の交代や他院の紹介
精神科コンサルト

9 %

19 %

17 %

患者と医療者の大きな認識の乖離

直腸癌手術を受けた患者さんの約 **80～90** %

Martellucci J : Low Anterior Resection Syndrome :A Treatment Algorithm. Dis Colon Rectum 59 : 79-82, 2016

しかし、医療者はLARSの有病率は約 **20～40** % だと推定している。

Thomas G, et al. Awareness and management of low anterior resection syndrome. Eur J Surg Oncol 45 : 174-179. 2019

Patient and public involvement (PPI)



患者が「医療研究や医療サービスの計画・実施・評価」に主体的に関わる

一般社団法人コロレクペディア



医療者と患者が作りました



榎本浩也

国際医療福祉大学病院
大腸外科医



佐藤正美

東京慈恵会医科大学
看護学科 教授



秋月恵美

札幌いしやま病院
大腸外科医



仕垣隆浩

久留米大学病院
大腸外科医



磯上由美

フリーランス
皮膚・排泄ケア
認定看護師



佐々木香織

直腸がん患者
ピアリング・ブルー代表



COLOREC pedia